



オーストラリア直送レポート

Vol.2

2025.8.11 ドキドキの初登校

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 栗栖

吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉

八幡中学校 熊ノ郷

[ドリップストーン校グループ]

●8月11日(月)の主なスケジュール

ドリップストーン校に初登校 → ウェルカムアセンブリー(歓迎会) → リセス

→ 2班に分かれて授業(1班:美術→科学→ランチ→体育 / 2班:日本語→柔道→ランチ→STEM)

8月11日、土日の休日が明けた月曜日、ドリップストーン校への初登校日です。初めての登校での緊張や、慣れない環境での生活に、少し疲れを感じているような生徒もいましたが、生徒同士顔を合わすと各々、「〇〇して過ごした!」「〇〇へ行った!」「〇〇を食べた!」など楽しそうに話をしていました。

学校の説明を受けた後、体育館でウェルカムアセンブリーがありました。現地校の校長先生の歓迎のあいさつや、現地校の生徒によるバンド演奏を聞いた後は、いよいよ吉備中学校の生徒の英語での自己紹介(one minutus speech)とグループ発表の番です。直前までとても緊張していたと思いますが、本番では、堂々とはっきり自己紹介のスピーチをしていて、現地の生徒にしっかり伝わったと思うとともに、事務局をはじめ同行の山下さん、現地校の先生もとても関心していました。

グループ発表の「吉備中クイズ」では、現地校の生徒も積極的に参加してくれ、とても盛り上がっていました。クイズ後のけん玉パフォーマンスでは、盛り上がりを見せつつも、緊張のせいか失敗してしまう生徒も多くいました。その中で、パフォーマンスを成功させることができた生徒たちには、体育館が揺れるほどの大歓声があがっていました。最後に、ドリップストーン校の制服をいただき、吉備中学校からは団長・副団長が、お土産を校長先生に手渡し、ウェルカムアセンブリーが終了しました。





次に、午前中にあるリセスという長い休憩時間には、ホストファミリーに持たせてもらったお菓子などを食べたり、卓球やレース（徒競走）、話をしたりして過ごしていました。

現地校の生徒と一緒に受ける授業は、1班は、「美術」でオーストラリアの独特の臭いを放つ果物の描写、「科学」でバター作りや日本クイズ、「体育」でバレーに似た競技を行いました。2班は、「日本語の授業」で日本語の単語を用いたゲーム、「柔道」でゲーム形式の基礎練習で汗をかき、「STEM」で電気を用いた実験・制作をしていました。



↑リセス（休憩）



↑日本語の授業



↑ 美術の授業



↑ 柔道の授業



↑ 科学の授業



↑ 体育の授業

ドリップストーン校の先生や生徒たちは明るく親切な人たちばかりで、すれ違い様に挨拶やグータッチをしにきてくれたり、よく吉備中学校の生徒たちの周りにも集まってきてくれたりしています。吉備中学校の生徒たちも英語で話をしたり、積極的に関わってくれています。引き続き、良い関係を築き、いろいろなことにチャレンジしていったほしいと思います。

また今年度はドリップストーン校と吉備中学校の姉妹校協定の5年に一度の更新年です。本日の午前中に団長立会いのもと、校長先生に協定書にサインをいただき、良好な関係の継続を確認しました。



[パーマストン校グループ]

本日は初めてパーマストン校に登校する日です。初日はパーマストン校の中でも 10-12 キャンパスという日本の高校生世代の子どもたちが通う校舎に行きます。ホストファミリーと週末を過ごした研修生たちが眠そうな表情で集合してきます。特別緊張している感じではなく、新たな体験にわくわくしているようでした。



まず、体育館で歓迎の集会がありました。研修生は、事前研修で取り組んできた one minute speech を披露しました。うまくできるか心配していましたが、全員が堂々と大きな声で発表することができました。続いてグループ発表として、日本の昔話「桃太郎」をオーストラリア向けにアレンジした「マンゴーボーイ」の劇をやりました。巨大マンゴーからマンゴーボーイが生まれた瞬間、現地生徒から歓声があがり、この瞬間、会場の緊張感が一気にほぐれたように感じました。

1時間目は、日本語の授業でした。いくつかのグループに分かれて、英語や日本語で会話をしました。男子ばかりのグループは、共通の話題があったのか、大きな笑い声がたびたび響いていました。こちらでの初めての授業でしたが、多くの生徒と会話をするこ



とができたと思います。

2時間目は、調理実習で、ハンバーガーとチョコレートのデザートを作りました。配布されたレシピを見て、現地生徒のサポートを受けながら作っていきます。料理に不慣れな研修生が多かったですが、みんな楽しそうに作っていました。完成したハンバーガーを目の当たりにすると、その大きさに圧倒されました。パティ、チーズ、レタス、トマト、パイナップルなど大量の具材がこれでもか入っていて、日本ではまずありえないボリュームでした。こんな大きさ食べられないだろうと思っていましたが、そんな心配をよそに、ほとんどの生徒がペロリと完食していました。



食後は、少し休憩してすぐに授業がありました。お腹がパンパンの状態でも受ける授業はまさかの体育。それでも、次々内容がかわるミニゲームに必死でついていっていました。最後はチームにわかれてバレーボールを楽しみました。

初日から積極的に英語での会話にチャレンジする姿が見られたので、研修生がとても頼もしく感じました。学校でのこれからのさまざまな授業も失敗を恐れずに取り組んでもらいたいです。

